

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 特別支援学校小学部4年生12名

- ・自分の意思や気持ちを言葉で伝えられる児童9人、身振りや指さし、写真カードで伝えられる児童3人であり、全体的に何かしらの手段でコミュニケーションをとることができる。
- ・新しい学習に対しても、興味を持ち、意欲的に取り組むことができる児童が多い。
- ・今年度は学習や行事の終わりに、楽しかったことや頑張ったことを実態に応じたワークシートにまとめる経験を積み重ねてきている。Aグループの児童は、教師とのやりとりを通じて、簡単な言葉や文章で表現することができるようになってきた。Bグループの児童は、教師とのやりとりを通して体験したことを思い出し、その時の気持ちを絵カードから選ぶなどしてまとめてきた。絵カードと自分の気持ちがつながっている児童もいるが、表現が難しい児童も何人かいる。
- ・学校の中で働く人（身近な教師以外）に関しては、養護教諭以外はほとんど児童と関わりがないと思われる。

2. 単元名「学校のお仕事博士になろう」（全12時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・学校の中では、（教師を含めて）様々な人が働いているという気づきを友達や教師に伝えたり、ワークシートで表現したりしている。・学校の中で、誰がどこで何をしているのかを言葉で伝えたり、絵や写真カードの中から選んだりしている。
思考力，判断力，表現力等	<ul style="list-style-type: none">・学校の中で働いている人に簡単なインタビューをしたり、分かったことを実態に応じたワークシートにまとめたりしている。・学校の中で働いている人が自分たちの学校生活にどのように関わっているか考えたり、疑問を持ったりしている。（Aグループ）
学びに向かう力，人間性等	<ul style="list-style-type: none">・実態に応じたヒントや問いを基に自分から調べに行こうとしている。

4. 本時の目標 省略

5. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い

学校では、みんなの知っている先生の他にも、たくさんの先生（人）がみんなのために働いているよ。誰がどこで何をしているのか調べてみよう。

考えるための材料	
材料 A	材料 B
実態に応じたワークシート	学校のお仕事地図
想定される活動	想定される活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かれている問いに対して、予想した考えをワークシートに記入する。実際に調べに行き、発見したことや疑問に思ったことを書く。(A グループ) ・ワークシートに書かれている写真を手掛かりにその日に行く仕事調べの場所が分かり、その場へ向かう。ワークシートの写真と実際のもの、人、場所を見比べる。(B グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事調べに行った場所、そこで見つけた人、ものなどを思い出す。 ・学校では、今まで知らなかったたくさんの人が働いていることに気付く。 ・次に仕事調べに行く場所に期待感をもつ。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
<ul style="list-style-type: none"> ・実態別の2グループで授業を展開していく。(以下Aグループについて明記、☆子供の対話や思考のプロセス) ・2時間で1か所の仕事調べを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 1時間目：教師が解決したい問い（「みんなが食べている給食は誰が作ってくれているのだろうか？」など）を提示する <ul style="list-style-type: none"> ⇒個々に予想をし、ワークシートに記入をする ☆ぼくは〇〇だと思うよ ⇒記入をしたことを友達と意見交換する <ul style="list-style-type: none"> ☆ぼくは〇〇だと思ったけどAさんの意見も当たっている気がする、Aさんと同じ考えだ ⇒実際に調べに行き、その場で働く人に疑問点などをインタビューする <ul style="list-style-type: none"> ☆初めて見る人だ、予想が当たっていたぞ、どうやって～するのか、聞いてみよう 2時間目：動画や写真を見て前時の振り返りをする <ul style="list-style-type: none"> ☆昨日のお仕事調べで行ったところだ、思い出した ⇒仕事調べで発見したこと、疑問に思ったことを教師とのやりとりを通してワークシートに記入する <ul style="list-style-type: none"> ☆〇〇は初めて見たよ、～がびっくりした ⇒ワークシートに記入したことを発表する <ul style="list-style-type: none"> ☆ぼくの発見はこれだ！Aさんと同じ考えだ、たしかに～も初めて見てびっくりしたな ⇒問いに振り返る <ul style="list-style-type: none"> ☆いつもぼくたちが食べている給食は、食堂の奥（厨房）で調理員さんが作ってくれているということが分かったよ ☆調理員さんが一生懸命作ってくれているから残さずに食べるよ ☆かっこよく食べるよ

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）
<p>学校では、色々な先生（人）が働いていることが分かったよ。</p> <p>（具体的に…）給食は栄養士さんが考えてくれて、食堂の奥で料理をしてくれて、〇〇先生が運んでくれるんだね。</p>